

広島8大学卒業設計展 2012

公開審査で最優秀ら決定

—— 総合資格が特別協賛 ——

資格学院／特総合資格。

この設計展は、広島大学・広島工業大学・近畿大学工学部・広島国際大学・広島女学院大学・福山大学・安田女子大学・山口大学の各建築系学科の学生が卒業設計作品を出展し、広島平和祈念卒業設計賞をはじめとする各賞を決定する展示会。今回の審査会では国内外で活躍する著名な建築家を招いた公開審査方式とし、設計競技をグレードアップした。また、8大学のほか招待校として6校（鳥取環境大学・岡山理科大学・呉工業高専・米子工業高専・穴吹デザイン専門学校・高知工科大学）を加え、県を越えた出展となった。

初日の広島市まちづくり市民交流プラザで開催された特別シンポジウムには建築家の松田達氏、梶井誠氏（OPNERS）

を迎えたほか、公開審査・講評会では審査員として建築家の西沢立衛氏、宇野求氏、三分一博志氏を招いた。

展示会には92作品が展示、11日に審査会が行われ、1次審査、2次審査（公開審査）の2段階の審査によって受賞作品が決定。公開審査では、ゲスト審査員による熱い議論が展開され、2次審査プレゼンテーションを経て、公開審査、投票、ディスカッションの後、最優秀賞1点、優秀賞3点が決定した。受賞作品、受賞者は次の通り。（敬称略）

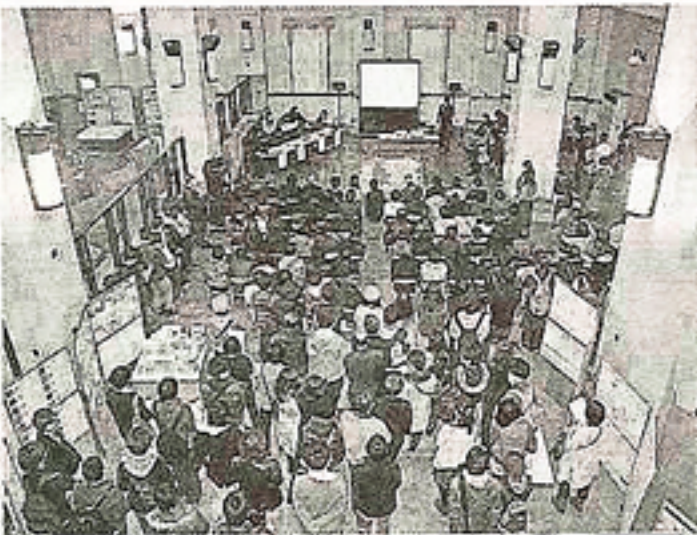
◇広島平和祈念卒業設計賞（最優秀賞）＝「水辺×仮設」・松村紫舞

◇優秀賞＝「いごもと世界をつなぐかべ」・東大典、「わたしは誰にも会いたくない」・宇治川和樹、「かげとひかりのひとくさり」・松田佳奈

表彰式で挨拶に立った特総合資格の岸隆司社長は「当学院では、建築の道を目指す皆さんのお手伝いとして、全国各地で開催されて

いる設計展や建築系イベントへの協賛・支援を行っている。その中でも卒業設計展は、これまでの学生生活の集大成として、また、自らの力量を試す場として、多くの学生が全精力を傾けて取り組む重要なイベントと捉えている。そして、このことは当社の大きな財産になっており、建築士をはじめとした建築関連資格の有資格者の輩出を通じ、高いレベルのスキルと倫理観を持った真の技術者の育成に取り組んでいるところだ。この設計展を機に、世界に向けて、夢あふれる、安全で安心な建築作品を、建築技術者として世に送り出していくってほしい。皆さんの取り組みがやがて大きく結実し、次世代の国づくり、都市づくりの大きな流れへとつながっていくことを信じているし、大きく期待している」と述べた。

同学院は平成23年度一級建築士試験で、教室を開講している36都道府県において、合格者4369人中、2259人を受講生から輩出、全国でもほぼ過半の合格者占有率を達成した。また、二級建築士でも合格率82%を達成している。



設計展のもよう



表彰式であいさつする岸社長